



高橋教授の

# この人に 会いたい

Vol.38

ゲスト

# 馳

# 浩

氏

衆議院議員

新型コロナウイルス感染症はPCR検査体制の充実もあり、感染者数が多く確認できるようになった。その一方で経済面への深刻な影響も指摘されるようになっていく。感染症対策と経済活動のバランスをどうとるかという問題もクローズアップされてきた。そこで今回は、来年7月に東京オリンピック・パラリンピックを控えるなかで多面的な活動を進める馳浩衆議院議員に、現在の問題式などを聞いた。

## 国民とリスクコミュニケーションをとりながら 安全と経済活動の両立を進めていく



### 当初の疫学的予測と 実態の乖離をどう見るか

高橋 新型コロナウイルス感染症の日本での拡大が確認されてから7カ月あまりが経過しています。この対談は8月19日に行っていますが、現在の国内の死者数は1104人。亡くなった方は本当にお気の毒ですが、当初、専門家会議に参加している先生から示された死者数予測10万人は大きく下回っています。一方で4〜6月期のG

撮影＝安西美樹

います。

馳 私自身、地元に戻ると最近よく「散歩やジョギング、馳さんのような日焼けなど、健康的な生活を送らないとかえって免疫力が低下して体を壊しやすくなるのではないですか」と聞かれます。

高橋 私が新型コロナウイルス感染症についての「7段階モデル」を提唱したのもそうした問題意識がもとになっています。これまでの疫学モデルが現在起きている現象を説明しきれないからではないかという疑問があったからです。かいつまんで説明すると、暴露する可能性はインフルエンザウイルスより高いけれど、体内に入って細胞にとりつく「感染」の可能性はインフルより低く、感染して発熱などのかたちで「発症」する可能性はさらに低くなり、重症化したり死に至ったりする割合はもっと絞られ、インフルモデルの100分の1くらいではないかという内容です。

馳 「7段階モデル」の仕組みを説明するエビデンスはあるのですか。

高橋 このメカニズムの解明には

DPは前年同期比で27・8%減と経済には深刻なダメージを及ぼしています。現在、政治の場ではどのような議論が交わされているのでしょうか。

馳 感染が拡大した当初の3〜4月は緊急事態宣言をはじめ、行動制限を求めるなどして拡大防止に努めました。いわば投網をかけるような政策で、この時の政策判断としては正しかったと考えています。が、現在、そして今後も同じ対策でいいのだろうかという議論は自民党内でも連日、各分野の学識経験者をお招きしながら繰り返し

ます。政策遂行は医療だけでなく社会的な観点からの判断も重要です。ヒト・モノを動かして経済も活性化させなければ、新型コロナ禍以上の社会不安を引き起こし、ひいては国力を衰退させ、国民の日常生活さえままたまならないという事態になりかねません。政策判断としては、感染症予防と経済を動かすというバランスが重要です。

### 従来型の疫学モデルで 現状を説明できるか

馳 エビデンスをもとに社会的、

経済的な方針を示すことが政治の大事な役割と私は考えています。新型コロナの感染の仕組みなどがすべて解明されるのを待っているわけにはいきませんから、疫学的な動向と社会的な人の動きのバランスをとりながら活動を進めていくしかないのですが。

高橋 そこで問題になるのが、疫学的な分析モデルがインフルエンザをもとにした、抗体の有無に基づいたものしかないことです。バランスを検討する上での前提が実態を説明していないとするならば、これを改める必要があると思



「感染を防ぐ」という考えに基づいている  
かぎり、大学の講義も開けない——高橋

てもらったことを設けています。また契約書も書き直して、「感染した場合是对応する」の一文を入れていただきます。人数が限られていけば追跡できますし、「感染リスクの高い歓楽街に出かけるのはしばらく我慢してください」とも言いやすい。

移行する人が増えましたが、そういう人たちの実態がまったく伝わってこないのです。たとえば地方の運動部で集団感染していたとマスコミで報道されましたが、その後、どうなったのか。

たリスクコミュニケーションの材料にもなります。

のあいだにしっかりとっていくことが必要です。まだ十分とは言えませんので、高橋先生にもひと肌脱いでいただきたいですね(笑)。

モデル事業を通じて  
「大丈夫」と説明する材料を描える——馳



最低5年かかるでしょうし、ワクチンの開発も2〜3年を要するでしょう。

馳 そのままで待っているわけにはいきませんね。

うに整理して事象を説明する手法を採っているそうです。新説が出たらそのモデルは逐次、組み替える。新型コロナの対策もそうした思考プロセスが必要でしょう。宇宙物理学の思考を用いなくても、現状を説明し、適切な対策がとられているならできれば問題ないのですが、実際にはそうではありません。しかも、それによって経済が停滞するなど、社会に大きな悪影響を及ぼしているのです。

高橋 残念ながら、かなり難しいと思います。というのは、新型コロナそのものは弱毒性ウイルスですが、それに見合う弱毒ワクチンを接種すると、本来にウイルスが体内に入ってきた際、免疫細胞が過剰に放出されて体内の細胞まで攻撃し出すという「サイトカインストーム」を起こしやすいことが知られているのです。開発されてもそれを用いるのはかなりリスクが高いと言えるでしょう。

馳 現在、わが国は147カ国からの入国をお断りしている状況ですが、来年7月には東京オリンピック・パラリンピックを控えています。そのためにもいつまでも現在の状況が続けるわけにはいきません。そこで検討を進めているのが、段階的に外国人に入国していただくモデル事業です。具体的には外国からの留学生とバレーボールのVリーグとバスケットボールのBリーグのチームに所属する外国籍選手を対象に、秋からの開幕にあわせて入国してもらうのです。条件として入国前のPCR検査で陰性が出ていること、入国後は公共交通機関は使用せずに施設に移動して10日間、様子を見

高橋 泰

Tai Takahashi  
国際医療福祉大学教授  
たかはし・たい●1986年、金沢大学医学部卒業。同年、東京大学病院第1第3第2内科・麻酔科で研修。92年、同大学医学部医学系大学院医学博士課程修了(医学博士)後、米国スタンフォード大学に留学。94年、ハーバード大学公衆衛生校に武見フェローとして留学。97年4月、国際医療福祉大学医療福祉学部医療経営管理学科教授。2016年9月より安倍内閣未来投資会議の構造改革徹底推進会合医療福祉部門副会長

「入国してもらっても大丈夫」「感染しても発症しなければ大丈夫」といったことが明らかになれば、そのように説明できます。そうし

たリスクコミュニケーションの材料にもなります。

高橋 前向きな馳先生の姿勢をうかがえて頼もしく感じます。本日はありがとうございました。

馳 浩

Hiroshi Hase  
衆議院議員  
はせ・ひろし●1984年3月、専修大学文学部国文学科卒業、同年4月、星陵高等学校の国語科(古典)教諭に就任。同年7月、ロサンゼルスオリンピックのレスリング・グレコローマンスタイルのライトヘビー級に出場。85年8月、ジャパンプロレスに入団。90年11月、IWGPタッグ王座を獲得。95年7月、第17回参議院議員通常選挙に石川県選挙区から立候補し初当選。2000年6月、第42回衆議院議員総選挙に石川1区から立候補、当選。15年10月、文部科学大臣・教育再生担当大臣。17年4月、自民党石川県連会長。17年8月、自民党教育再生実行本部長

らが一辺倒に偏るのは良くないと思っっています。それぞれリスクとベネフィットがあるわけですが、それらのバランスをどう考え、国民と共有できるかがますます大事になりますね。

Vリーグ、Bリーグの

外国選手から入国してもらう